

起動ディスク作成方法 < Windows 2000 >

『すべてのファイルが表示されるようにする方法』を実行してすべてのファイルが、表示されるようにします。

次に、下記の方法でフロッピーディスクを作成します。

お手元に Windows 2000 のインストール CD をご用意の上、作業を実行して下さい。

Windows2000 の CD-ROM の中の「VALUEADD」フォルダの中の「3RDPARTY」フォルダの中の「CA_ANTIV」の中の Makedisk.bat ファイルを実行します。

画面の指示に従い、フロッピーディスクを作成します。

上記の手順で作成したフロッピーディスクをフロッピードライブに入れ、マイコンピュータの『3.5 インチ FD (A:)』をダブルクリックします。

表示されたフロッピーディスクの中のファイルの内、『Io.sys』『Msdos.sys』『Command.com』の3ファイル以外のファイルをすべて削除します。

削除が終わったら、『すべてのファイルを表示する方法を元に戻す方法』の手順に従い、表示を初期状態に戻します。

BIOS アップデート方法 < 対象製品型番 *SD-SATA3112-150I *SD-SATA3112-150I/L *SD-SATA3114-150I *SD-SATA3114-150R >

この作業に必要な機器：本製品を搭載しているパソコンにはフロッピードライブが必要です。データが入っていないフロッピー1枚

《BIOS アップデートでは必ず手順通り行なって下さい。間違えた手順で行なうと本製品が故障致します>>

《 警告：BIOS がお解りにならない場合は本作業を行なわないで下さい 》

型番	ドライバ名	BIOS 名
SD-SATA3112-150I	http://www.siliconimage.com/docs/BIO-003112-xxx-4279.zip	b4279.bin
SD-SATA3112-150R	http://www.siliconimage.com/docs/BIO-003112-xxx-4279.zip	r4279.bin
SD-SATA3114-150I	http://www.siliconimage.com/docs/BIO-003114-xxx-5314.zip	b5314.bin
SD-SATA3114-150R	http://www.siliconimage.com/docs/BIO-003114-xxx-5314.zip	r5314.bin

*b と r を間違えて適用しないで下さい。

下記の URL をクリックして頂きますとフラッシュツールと BIOS プログラムをダウンロード致します。

『フラッシュツール』 http://www.siliconimage.com/docs/UpdFlash_v335.zip

『BIOS』 <http://www.siliconimage.com/docs/BIO-003112-xxx-4279.zip>

下記方法は、例) SD-SATA3112-150R の BIOS アップデートとなりますので、お客様ご使

用製品に置き換えして実行して下さい。

上記情報は 2007 年 1 月のものです。最新の情報は Silicon Image のサイトに表記される場合がございます。

【ダウンロードサイト】

<http://www.siliconimage.com/support/>

ダウンロードいたしましたファイルは圧縮されております。そのファイルをダブルクリックして解凍して下さい。

下記方法は、SD-SATA3112-150R の BIOS アップデート例)となりますので、お客様ご使用製品に置き換えして実行して下さい。

解凍したファイルを元に DOS で起動するフロッピーを作成します。

起動 FD(フロッピー)の作成方法に関しましては別紙の『**起動フロッピーの作成方法**』をご参照下さい。

解凍したファイル内にある『 r4279.bin 』と『 Updfash.exe 』を起動フロッピーにコピーして下さい。

当社製品を取付られているパソコンのフロッピードライブに先ほど作成したフロッピーを入れてから、パソコンの電源を ON にして下さい。

：この時、パソコンの BIOS の設定を変更されている場合は 1st Boot Drive が FDD である事を事前にご確認下さい。

DOS 画面が現れ、『 A:> 』と表示されましたら『 updfash r4279.bin 』と入力し『 Enter 』キーを押します。

その後、下記のような文字が表示されます。

This utility is for flash chip Used

This utility is not fiash chip

Continue ? (Y/N) と表示されましたら『 Y 』キーを押し、『 Enter 』キーを押して下さい。

少々お待ち頂きますと『 Continue to load BIOS? (Y / N) 』と表示されます。『 Y 』キーを押し『 Enter 』を押して下さい。

『 Loading for BIOS . . . 』と表示されます。2-5 分程お待ち下さい。

次に画面が変わり『 Verifing BIOS 』と表示されます。ここでも 2-3 分お待ち下さい。

『 A:> 』という表示に変わりましたら本作業は終了となります。パソコンの電源を OFF にし、その後フロッピーを取り出して下さい。

フロッピーを取り出さないと、次回電源 ON 時もフロッピー内のデータを最初に読みに行き、Windows が起動出来ません。

『ドライバ更新方法』

<ドライバを更新する> 上記方法はまず製品を Vista に対応させる為で、ドライバを更新しないと正常に Vista で認識出来ません。

下記方法は、SD-SATA3112-150R での方法を例)として記載しております。

下記の URL をクリックしドライバをダウンロードして下さい。

『本製品のドライバ』 <http://www.siliconimage.com/docs/3x12-vista-x86-logo-13670.zip>

ダウンロードした圧縮ファイルをダブルクリックし解凍して下さい。

Windows をインストールしているドライブ内にある『Windows』 『SYSTEM32』

『Drivers』を開き、先ほど解凍したフォルダ内にある『Si3112.sys』を『Drivers』にコピーします。

次に『デバイスマネージャー』を表示し、本製品をダブルクリックします。(SCSI と RAID コントローラー内に本製品は表示されます)

『ドライバ』 『ドライバの更新』をクリックします。

『一覧または特定の場所からインストールする』を選択し『次へ』をクリックします。

『次の場所で最適のドライバを検索する』を選択『次の場所を含める』にチェックを入れます。

『リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROM など)を検索』のチェックは外して下さい。その後『参照』ボタンをクリックします。

解凍したフォルダを選択し『OK』をクリックします。

『検索とインストールのオプションを選んでください』の画面に戻りますので、『次へ』ボタンをクリックします。

『Windows との互換性を検証する Windows ログテストに合格していません』と表示が出ますが、『続行』をクリックして続けて下さい。

*Windows ログテストは、表示されない場合もございます。表示される場合は、上記手順を実行して下さい。

『ハードウェアの更新ウィザードの完了』の画面が表示されることを確認し、『完了』をクリックします。

完了したらパソコンを再起動して下さい。

『すべてのファイルを表示する方法』

Windows Me、2000、XP の場合

マイコンピユータ マイコンピユータのメニューから「ツール」 - 「フォルダオプション」を選択。

「フォルダオプション」の「表示」タブをクリック。

「すべてのファイルとフォルダを表示する」の左の に、チェックを入れ、

「登録されているファイルの拡張子は表示しない」の 左のチェックを外す。

「保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない（推奨）」の左のチェックをはずします。

（このとき、警告画面が出ますので「はい」ボタンをクリックしてください。）

「OK」をクリックしてフォルダオプションを閉じます。

*上記設定変更を実行した際は、必ず下記操作にて設定を元に戻して下さい。

『すべてのファイルを表示する方法を元に戻す方法』

Windows Me、2000、XP の場合

マイコンピユータ マイコンピユータのメニューから「ツール」 - 「フォルダオプション」を選択。

「フォルダオプション」の「表示」タブをクリック。

「隠しファイルおよび隠しフォルダを表示しない」の左の にチェックを入れ、

「登録されているファイルの拡張子は表示しない」の 左のチェックを入れます。

「保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない（推奨）」の左のチェックを入れます。

「OK」をクリックしてフォルダオプションを閉じます。